



親から子へつなぐ
悠久の森 源流の里
にしめや

広報 Nishimeya

にしめや



No.679



TOPICS

村長・議長新年の挨拶… P.2～3
白神のまなびやより… P.4～5
いきいき健康広場… P.6

社会福祉協議会だより… P.6
白神だより… P.7
地域おこし協力隊通信

消防だより… P.7
各種お知らせ… P.8～11
ズームアップにしめや… P.12



新年のごあいさつ 「謹んで新春のお慶びを 申し上げます」

西目屋村長 桑 田 豊 昭

新年あけましておめでとうございます。

令和7年の幕開けを迎え、村民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より村政運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、元日という本来であれば新年を祝い、家族団らんのときを過ごしている時間帯に、あのような惨事が起こるとは、だれも想像していなかった、能登半島地震など、あらためて自然災害の恐ろしさと地域防災体制の重要性を認識した年でありました。

そのような状況ではございましたが、村では、新型コロナウイルス感染症拡大により落ち込んだ地域経済を活性化させ、観光客を呼び戻すため、世界自然遺産白神山地を有する村を前面に打ち出し、3年目となる「にしめやランド2024」のイベントを、道の駅「津軽白神」を中心に開催し、多くの村民の皆様にも楽しんでいただき、県内外からも多くの方が訪れ、村に活気があふれておりました。

また、第22回弘前・白神アップルマラソンでは、当村をゴールとするハーフマラソンに800人近くが参加され、ゴールでは激励に訪れた方々とランナーが一体となって盛り上がり、世の中全体に活気が戻ってきたように感じております。

本年につきましては、これまでの取り組みを一層強化し、「活力と魅力あふれる西目屋村」を目指します。特に少子高齢化や人口減少といった課題に立ち向かいながら、地域資源を生かした産業振興、そして未来を担う子どもたちの教育環境の充実に注力してまいります。

また、村民一人ひとりが安心して暮らせるよう、防災対策や健康と福祉の充実に、今まで同様に力を入れてまいります。

政策の柱である「村民が安心して暮らせる村づくり」「教育環境支援事業の推進」「農業所得向上、地域農産物のブランド化」「白神山地を中心とした観光開発事業の推進」を中心に据え、初心を忘れずに決してブレることなくクリーンな政治を目指し、村民が心豊かに毎日を暮らせる村づくりに、積極的に取り組んでまいります。今後におきましても村民の皆様の声に耳を傾けながら、共に歩む村政を進めてまいりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、本年が村民の皆様にとりまして、健康で幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



令和7年新年あいさつ

西目屋村議会

議長 佐藤 ふじ子

新年明けましておめでとうございます。

村民の皆様には、常日頃より議会運営にご協力賜り厚くお礼申し上げます。

村民あつての西目屋村です。

さて、去年は正月早々未曾有な能登地震が発生、家屋は壊滅的、死者行方不明者が多数となり、全国各地で線状降水帯による、水害、災害が発生し自然に左右される農家の方々は大打撃です。幸い我が村は秋の収穫も良かった様です。米、リンゴも高値という事で安堵しております。

世界自然遺産白神山地のマザーツリーの枯死を受け、後継のシンボルツリーに選ばれた、ブナの巨木について、東北森林管理局津軽森林管理署は10月23日、名称を「白神いざないツリー」に決定しました。応募したのは西目屋小学校4年の門藤琳音さん「たくさんの人や熊、鹿、テンとかたくさんの動物にも来てもらえる愛される木になって欲しい」という琳音さんの想いでした。沢山の方が訪れる様願ってます。

平成12年、当時の総理大臣「森喜朗氏」がこれからはITの時代だと推奨し、あれから24年。今では公衆電話、ポケベルも無くなり、携帯電話一人一台の時代になりました。メカに弱い高齢者は使いこなせないが、若い人達は完璧に操作できる。今では財布を忘れても携帯は必需品です。使いこなせばこれ程便利な物はありません。しかし使い方を誤れば犯罪にも繋がります。テレビを見ない、会話も無、文字を書けない人も増えているとか。今回、兵庫県知事選もSNSの力、凄いと思いました。

時代と社会情勢で「本年度で年賀状を卒業します。」と年賀状に記す年賀状じまいが広まっています。終活を考える高齢者のみならず、年代を超えて消えているそうです。手軽な交流サイト（SNS）による代用が高まり、ハガキの値上げに影響。時代の変化で今は墓じまいも増えています。三世代時代では考えられない事ですが、これから先、世の中がどう変化するのか見守っていきたいです。

結びに本年も村民の皆様が毎日元気に送れます様ご健康とご多幸を祈念し、新年の挨拶といたします。

白神のまなびやより

たしろ保育園

新年おめでとうございます。昨年は皆さまより心温まるご尽力を賜り誠に有難うございました。引き続き元気な保育を継続して参りますので今年も宜しくお願い申し上げます。

令和6年12月7日、たしろ保育園お遊戯会が開催されました。桑田村長はじめ大高教育長、西目屋小学校鳴海校長をお招きし、沢山の保護者の方を目の前にして、子ども達はかなり緊張したと思います。プレッシャーに負けず、立派に発表した姿に感動を覚えました。最後にサプライズとして、たしろ保育園職員一同による合奏「ジブリメドレー」を披露しました。

今年度のサタスタルームが12月14日で終了しました。弘前大学教育学部1年生の皆さん、楽しい学習時間ありがとうございました。来年度も楽しみにお待ちしております。西目屋児童クラブは毎月スポーツクラブと手作りクラブがあります。文武両道ならぬ2つの異なる活動を工夫しながら満喫しています。

たしろ保育園 園長 山内 久子



三菱総研DCS株式会社の西岡さんと米沢さんを講師に迎え、5・6年生がロボットプログラミングの授業を行いました。

この授業は、キャリア教育やプログラミング教育への関心を高め、子どもたちの知的好奇心を引き出し、ロボットやプログラミングとのよき出会いとなることを目標として開催されました。

授業では、5・6年生が3～4人のグループとなり、ロボットの「NAO」を動かすためのプログラムを考える活動をしました。動きを指示するための6枚のカードをもとに、どのような順番でプログラムをすると、「NAO」がねらった動き方をするのかについてグループで考えました。

カードとカードを一通りつなげた後に、グループ内で熱心に議論する様子が見られました。また、「この指示はいらないのではないかな？」と、効率的に動かすための見通しをもって活動する様子も見られました。プログラムが成功すると、「NAO」は早口言葉を話したり、大きなリアクションで笑ったりしていました。普段はなかなか体験することができない科学的な授業を通じて、ロボットエンジニアという職業に興味をもった子もいたようです。

授業を終えた子どもたちは、「アプリを使ってロボットを動かしているのがすごいと思った」「ロボットプログラマーのお仕事紹介などがとてもおもしろかった」「プログラミングの授業が分かりやすかったし、グループの人たちと悩んだりして楽しかった」「ロボットが笑うだけではなく、泣く、歌うなどのジェスチャーをプログラムしてみたいと思った」「NAOが人といっしょに歩くという活動が面白かったし、ロボットが転んだときの反応や立ち方などを見ることができてすごいと思った」などの感想をもつことができました。

とても有意義な時間を提供してくださった、三菱総研DCS株式会社の西岡さんと米沢さんに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

この取り組みは、Aldebaranの「NAO」を活用し、三菱総研DCSが独自に実施しています。「NAO」はAldebaranの登録商標です。



歯の健康づくりに関する優秀作品等の表彰式！！

村の歯と口腔の健康づくりを推進するため、西目屋小学校児童の皆さんに、歯の健康に関する標語・キャラクターを考えてもらいました。役場職員でそれぞれ最優秀賞1名と優秀賞2名を選考し、12月19日（木）に受賞者に対して、村長から表彰状の授与と記念品（サンスター株式会社さん提供）を贈呈しました。

また、同日西目屋小学校虫歯ゼロ児童の代表者にも表彰状を授与しました。



【歯の標語・イラスト受賞者】



【むし歯ゼロ表彰者（代表者）】

- 【標語】 **最優秀賞** 5年 三浦 捺妃さん 「守ろうね 歯は一生の パートナー」
優秀賞 5年 田畑 寛汰さん 「輝く歯 毎日歯磨き 明るい未来」
優秀賞 5年 滝吉 晴琉さん 「こんにちは きらりとひかる きれいな歯」

【キャラクター】

最優秀賞 3年 米村 倫太郎さん 『キラリンピック』	優秀賞 1年 米村 璃子さん 『きらりんちゃん』	優秀賞 1年 山下 楓禾さん 『はキラちゃん』
---	---	--

*****【今月のいきいきDay】*****

日 程	行 事 名	備 考
1月 8日(水)	歯っぴーデー	歯ブラシを交換しませんか？ 意識的に歯磨きをしてみましょう。
1月10日(金)	乳幼児健診	対象：4ヶ月・7ヵ月児・1歳・1歳半・2歳半・3歳半 対象者には案内を送付しています。

※なんでも相談窓口 健康のこと、介護のこと、生活のこと、なんでも相談してください。

（西目屋村役場住民課 保健師／成田） 電話番号 85－2804

社会福祉協議会だより

お知らせ

教育支援資金の貸し付け～お早めにご相談ください～

社会福祉協議会では低所得世帯等（※）に対し、教育資金でお困りの方に次に掲げる経費の貸し付けを行っています。

また、相談により解決策のご提案や他制度の紹介等をいたします。

相談から貸し付けまで1ヶ月ほどかかります。必要と思われる方はお早めにご相談ください。

QRコードの「問い合わせフォーム」もご利用いただけますので、ぜひ活用ください。

（※）資金の貸付けにあわせて必要な支援を受けることにより独立自活できると認められる世帯であって、必要な資金を他から借り受けることが困難な世帯（市町村民税非課税程度）。

▼教育支援費…高等学校、大学又は高等専門学校等に修学するのに必要な経費。（授業料、定期代等）

- ・貸付限度額 高校 月3万5千円以内
- 高専 月6万円以内
- 短大 月6万円以内
- 大学 月6万5千円以内

▼就学支度費…高等学校、大学又は高等専門学校等への入学に際し必要な経費。（入学金、制服、教科書代等）

- ・貸付限度額 50万円以内

※貸付利子は、教育支援費及び就学支度費ともに無利子です。

▽問い合わせ・申込先

社会福祉法人西目屋村社会福祉協議会

TEL…85－2255

（受付時間…平日8:15～17:00）

Mail…nishishakyo@wine.ocn.ne.jp



【問い合わせフォーム】

子育て成奨励金



子育て成奨励金が支給されました。

将来西目屋村発展の有用な人材になることを期待しています。

【子育て成奨励金支給対象者】

出産祝金（敬称略）

米沢 燈真（とうま）（和優・沙紀 第3子）

農業集落排水に加入しましょう

農業集落排水（下水道）は、水環境の悪化により生態系などに様々な影響を及ぼす生活排水を集めて、きれいな水に処理することによって、農業用排水及び河川の水質改善を図り、快適な生活が送れるようになります。

排水設備工事や水洗便所改造工事をする場合は、役場建設課（☎85-2802）までご連絡ください。



グリーンパーク もりのいずみ

雪が降る季節になり、毎年思っています
が降雪量が少なければいいなと願いながら、
この時期雪片付けや仕事の疲れ等で、体力が
落ちてきてます体を、リフレッシュする為に、
日帰り入浴や日帰り休憩（カラオケ1曲
100円）、又、日帰り温泉パック（団体15
名様からとなります。）利用、湯治一泊（2食
付プラン、又、素泊りプランからでも可）に
でも、ご家族やお友達、又、大人数の団体様の
ご利用をお待ちしております。

地域おこし協力隊通信

こんにちは。隊員の吉崎萌です。すっかり
冬になり、雪がたくさん降っていますね。
雪といえば、動物の足跡がたくさん見られる
季節でもあります。散歩をしている犬や野良
猫はもちろん、西目屋村では、里でも野生動
物の足跡が見られますね。昨シーズンの3月
にはビジターセンターの入り口でノウサギの
足跡を見つけました。ノウサギは警戒心が
強く、滅多に人前に姿を現さないのが、こん
な人里にも降りてくるんだ！と驚きました。
他にもビジターセンター周りにはたくさん



動物の足跡があり、
田んぼにはテンやタ
ヌキの足跡がありま
した。雪がないと知
ることが出来ない、
夜間の野生動物の活
動の形跡にロマンを
感じます。今シーズ
ンも「あしあとハン
ター」と称し、動物
の足跡を追いかけた
いと思います！



消 防 だ よ り

雪の事故に注意しましょう！

今冬も相変わらず私達を苦しめる雪が降ってきました。近年の雪は水分を多く含んでいるためか非常に
重く、除雪や屋根の雪下ろしがいつも以上に大変なことと思います。またこれからより一層積雪の量も多
くなり、除雪をする機会が増えてくるかと思うので、無理をせず自分の身体の状態を考えた上で除雪
等を実施して頂きたいと思います。

今回は屋根の雪下ろしの注意点を5つまとめましたので、ご確認頂ければ幸いです。

1 安全な服装や装備で行う！

屋根からの転落、落雪などから身体を守るために、ヘルメットや命綱などの装備をしましょう。

2 はしごの固定を確実に！

はしごはしっかり固定し、昇り降りには細心の注意をしましょう。

3 協力をして連絡が取れる準備を！

万が一の事故に備え、2人以上で作業を行い、何かあればすぐに助けを呼べるようにしましょう。また
携帯電話を忘れずに持ち、家族や隣近所の方へ声をかけてから作業を行うようにしましょう。

4 屋根雪のゆるみに注意！

暖かい日の午後など、屋根雪がゆるんでいる時は雪解け水や雪の動く音に注意し、いつでも逃げられる
ようにしましょう。

5 無理をせず、体調に合わせた作業を！

雪下ろし・除雪作業は重労働です。量が多い時は一気に行おうとせず、十分な休憩を取りながら片付け
るようにしましょう。また体調が悪い時には作業を行わないようにしましょう。

西目屋村災害発生状況

令和6年11月末現在

	救 急	火 災	救 助	遭 難
11月件数	3	0	0	0
累 計	51	0	1	0

「あなたも看護補助者として働きませんか」

青森県ナースセンターでは、看護補助者の無料職業相談を開始しました。資格のない方も安心して就業出来るよう、研修や病院見学を準備しています。ぜひご相談ください。

＊青森県ナースセンター（青森市）では来所・電話・メールで随時、相談を受け付けています。

平日9時～12時・13時～16時、どうぞご利用ください。

【問い合わせ先】

公益社団法人青森県看護協会 青森県ナースセンター
〒030-0822 青森市中央3-20-30 県民福祉プラザ3階
☎ 017-723-4580 FAX 017-735-3836
メールアドレス：aomori@nurse-center.net
URL: <https://aomori-nurse.jp>



講師・スクールサポートスタッフ募集

公立小・中学校において、令和6・7年度に児童・生徒の指導に当たる「講師（臨時的任用職員）」と教員に代わって教材の準備等を行う「スクールサポートスタッフ」を募集しています。

▽応募資格

講師：小・中学校の教員免許状を所有している人

※「臨時免許状」を授与することにより、所持免許状以外の校種・教科の指導ができる場合があります。

スクールサポートスタッフ：資格等不要

▽応募方法

ホームページ（二次元コード）に掲載している「青森県公立学校臨時的任用職員申請書」を提出してください。

問い合わせ先 県教育庁中南教育事務所（弘前市蔵主町4、☎32-4451）



里親啓発 上映会

日時 令和7年2月1日(土)
10:15～12:30 (受付10:00)
場所 弘前市総合学習センター（視聴覚室）
弘前市大字末広4丁目10-1

《お申込み方法》
申込みフォーム



※上記方法をご利用できない場合は電話でお申込みください。

☎ 0172-31-6010（里親支援センター弘前）

《主催》里親支援センター弘前

有限会社 環境プラント

古河産機システムズ(株)特約店

〒036-8084 青森県弘前市大字高田1丁目13番地1号

工場 〒036-8112 青森県弘前市大字堀越字鎧田49-2

TEL (0172)28-1481・FAX(0172)28-1482



弘成舗装 株式会社

私有地・敷地等

舗装工事承ります

☎ 0172-28-5303

建設工事コンサルタント

建設ICT・CIM対応



北村技術 株式会社

本社 〒036-8061 青森県弘前市大字神田4丁目1-21
TEL 0172-31-5655(代表) FAX 0172-31-5622

宮城支店 〒989-6116 宮城県大崎市古川李埴字前田68-4
TEL 0229-87-3955 FAX 0229-87-4326

作業所 青森・十和田・八戸

後期高齢者医療被保険者のみなさまへ

1 交通事故等にあったとき

交通事故や暴力等、第三者（自分以外の人）の行為によって負傷され、被保険者証、マイナ保険証または資格確認書を使って治療を受けたときは、必ずお住まいの市町村へ届出してください。また、自損事故の場合も届出が必要です。

2 「医療費通知書」の送付について

医療費通知書は、ご自身の受けた医療の状況を知っていただくために年1回お送りするお知らせです。令和6年1月から同年12月診療分の医療費通知書は、令和7年2月末に発送します。

確定申告にご利用される方には、令和6年1月から同年11月診療分が記載された医療費通知書を発行することができますので、2月3日から設置するコールセンターへ、被保険者番号がわかるもの（被保険者証または資格確認書）をご用意の上でご連絡ください。コールセンターの電話番号は、1月中旬頃に青森県後期高齢者医療広域連合のホームページに掲載するほか、市町村の後期高齢者医療担当窓口に掲示します。

なお、確定申告に利用するための1年分の医療費通知情報は、例年、2月9日からマイナポータルでも取得可能です。



問い合わせ先：青森県後期高齢者医療広域連合
(Tel 017 - 721 - 3821)

個人住民税の特別徴収の推進について

所得税の源泉徴収事務にある事業主の方は、地方税法の規定により、給与支払いの際、「個人住民税の特別徴収」を行うことが義務付けられています。

このため、県と県内市町村では、個人住民税の特別徴収の完全実施を進めており、原則としてすべての事業主の方に特別徴収を行っていただいておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

特別徴収の取組全般（中南地域）については下記連絡先へ、手続き等については従業員の住所の市町村へお問い合わせください。

○個人住民税の特別徴収とは

所得税の源泉徴収と同様に、事業主（給与支払者）が従業員（給与所得者）へ毎月支払う給与から個人住民税を徴収（天引き）し、従業員に代わって納入していただく制度です。

なお、個人住民税の特別徴収は、市町村が従業員ごとの税額をお知らせしますので、所得税の源泉徴収のように、税額を計算したり年末調整をしたりする手間がかかりません。また、従業員が自分で納付する「普通徴収」に比べ納め忘れがなく、1回あたりの納付額の負担が少ない（原則年4回→年12回）など、従業員にとって大変便利な制度となっております。

中南県民局県税部 納税管理課 ☎ 32 - 4341

Next innovation
会社が培った情報という財産を次の時代に活かす。

ACS 株式会社 青森電子計算センター

■本社 / 青森市三内字丸山393-270 (西部工業団地内) TEL. 017-761-5301
■弘前営業所 / 弘前市大字神田3-2-3 (角弘弘前支店2F) TEL. 0172-35-0882

建築基準法の改正

令和7年度から建物に関するルールが大きく変わります。

令和7年4月以降に工事に着手する場合の主な変更内容は以下のとおりです。

これからの建築行為を予定されている方は十分ご注意ください。

○全ての新築で省エネ基準適合を義務化

- ①省エネ適合性判定手続きが必要になります。
- ②使用基準で評価する場合、省エネ適合性判定は不要です。

○木造戸建住宅等の建築確認手続き等を見直し

- ①都市計画区域外で「建築確認」が必要な対象範囲を拡大します。
- ②「審査省略」の対象範囲を限定します。
- ③構造・省エネ関連の図書等の提出が必要になります。

問い合わせ先

中南地域県民局建築指導課（32－3801）または依頼する建築士へ問い合わせください。

相続登記はお済みですか月間

青森県司法書士会では、毎年2月を「相続登記はお済みですか月間」と定め、相続登記の手続きを促す啓発活動の一環として、相続登記に関する無料相談会を実施しております。

相談期間 2025年2月1日～2月28日までの1ヶ月間（土日祝日は除く）

相談場所 青森県内の各司法書士事務所
※事前に司法書士事務所へ相談のご予約をお願いします。

費用 初回相談無料（2回目以降や具体的な手続きは有料です）

問い合わせ先

青森県司法書士会

〒030－0861 青森市長島三丁目5－16

☎ 017－776－8398

FAX 017－774－7156

放送大学入学生募集のお知らせ

○放送大学では、2025年4月入学生を募集します。

○放送大学では、「大学を卒業したい」「働きながらスキルアップしたい」「学びを楽しみたい」「空いた時間を有効に使いたい」など、それぞれの目的で様々な年代や職業の方が学んでいます。

○授業は、インターネットやBS放送で視聴し、単位認定試験もWEBで受験できるため、今の時代の学び方としても注目を集めています。

○出願期間は2025年3月11日まで。

○資料を無料でお送りしますので、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先 放送大学青森学習センター TEL 38－0500 <https://www.ouj.ac.jp>

放送大学青森学習センター移転のお知らせ

青森学習センターは、2025年度第1学期より、弘前大学コラボ弘大から弘前駅前の「ヒロロ」4階へ移転することになりました。

移転先 〒036－8003 弘前市駅前町9－20 ヒロロ4階

移転予定 令和7年4月1日（火）開所

問い合わせ先 TEL 38－0500 FAX 38－1299

apollostation

あんしん

あんぜん

(株)角弘白神サービス

ステーション

油屋です！

スタッフ募集中！！

弘前市黒土 ☎ 86-2026

家づくり相談会開催中！

新築・リフォーム

あなたの家をカタチにします

WEB予約



常設展示場 弘前市駒越字村元 29-5

10:00 - 19:00 <水曜日定休>

☎0172-35-6118

一般建築士事務所

株式会社 村上組

青森県弘前市(特・4)第111号
本社 弘前市大字藤代1丁目2-1
TEL 0172-35-6111

インスタ・HPで
施工事例掲載中！

@kik-murakamigumi



Follow me



当社は
住宅工本
費削減を
目指す
です



令和6年11月届出分

「戸籍の窓」は原則として「本籍が西目屋村にある方」を掲載しています。掲載を希望しない方また当村に本籍がなくて掲載を希望する方などがありましたら、必ず広報係までお申し出ください。

※ おめでとう

よねざわ とうま
米沢 燈真 (和優・沙紀) 田代 男

※ おしあわせに

伊藤 圭介 (宮城県) ♥ 金谷利加子 (田代)

藤村 義行 (岩手県) ♥ 西川 優美 (藤川)

工藤 剛 (弘前市) ♥ 佐藤 和奏 (田代)

※ おくやみ

桑田 富昭 (76) …大秋

松嶋 フエ (91) …田代

R6.11月末現在 () は前月比

村の人口

男 性 565人 (+3)

女 性 645人 (-1)

合 計 1210人 (+2)

世帯数 528世帯 (+2)

農家民宿・民泊を開業し、観光客を受け入れてみませんか？

— 新規開業者向け研修会の開催 —

県では、農山漁村に宿泊して、食事や農作業などの地域資源を活かした体験を楽しむ「農泊」を通じ、国内外の観光客を受け入れてきました。

近年は、こういった体験や、地域の方々との交流を目的に、国内外からの観光客が増加しています。

研修会では、農家民宿や民泊の開業に必要な関係法令や、実際に取り組んでいる方の体験談を紹介します。

農業者以外の方も取り組むことができるので、興味のある方、人との交流が好きな方、どなたでも是非御参加ください。

【研修会日程等】

日 時：令和7年2月14日（金） 13：15～15：00

場 所：青森県武道館第二・第三会議室（弘前市豊田二丁目3）

申込方法：電話または参加申込書（メール等）による申込み

※ 参加申込書は二次元コードからダウンロードできます。

問い合わせ先：青森県農林水産部構造政策課

TEL：017-734-9534 E-mail:nousonkassei@pref.aomori.lg.jp



「第2回自動車整備技能登録試験対策講習」受講生募集

在職中の方を対象とした試験対策講習を実施します。

と き 2月17日（月）、19日（水）、21日（金）、26日（水）、28日（金） 18時～21時

と ころ 弘前高等技術専門学校（弘前市大字緑ヶ丘1丁目9-1）

定 員 10名

受 講 料 1,300円

募集期間 12月10日（火）～1月27日（月）

申込方法 FAX・郵送又は電話でお申し込みください（募集締切日必着）。

※受講申込書は当校ホームページからダウンロードできます。詳細は当校ホームページをご覧ください。

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/sangyo/hi-gisen_zaisyokusya_01.html

問い合わせ先 弘前高等技術専門学校 在職者訓練担当 TEL 32-6805 FAX 35-5104



令和7年度訓練生の募集

訓練課名	募集定員	募集期間	入稿試験日	試験方法	対象者	訓練機関	
デジタルデザイン科	15名	令和7年 1月6日（月） ↓ 1月31日（金）	令和7 2月7日（金）	職業適性検査 面接	知的障がいの ない方	1年間 （4月～3月）	
OA事務科	15名			適性検査 面接（保護者同伴）	知的障がいの ある方		
作業実務科	10名						

試験会場 青森県障がい者職業訓練校（弘前市緑ヶ丘1-9-1 TEL 36-6882）

合格発表 令和7年2月21日（金） 9時

令和6年度県税知事表彰

村上利昭氏が「令和6年度県税納税知事表彰」を受賞されました。これは、長年にわたる納税貯蓄組合長としての功績が認められたものです。村上利昭氏は平成24年4月から11年間「白沢地区納税貯蓄組合」組合長を、令和5年度からは「西目屋村納税貯蓄組合連合会」会長を務めておられます。

11月22日村長室において、知事表彰の伝達式を行いました。これまでの多大な貢献に感謝するとともに、今後とも納税貯蓄組合の育成指導・納税意識の高揚にご尽力くださいますようお願いいたします。



消防団叙勲

長年消防団の活動に携わり、団長として活動を支えてくださった山崎清則さんが「瑞宝単光章」を受章し、報告に村長を訪問されました。県内で「秋の叙勲」を受章したのは45名で、このうち「瑞宝単光章」を受章したのは26名です。



長寿祝金



令和6年12月16日に満88歳になられた折戸イツさんへ長寿祝金が贈られました。これからお体を大切に長生きなさってください。

縄文土器・土偶の常設展示

青森県埋蔵文化財調査センターのご協力のもと、津軽ダム建設に伴う発掘調査にて、実際に砂子瀬・川原平地区で出土した土器や土偶の本物を中央公民館にて常設で展示しております。展示物は、不定期ではありますが、一部入替を予定していますので、是非この機会に見学してください。



ライスボールとつくる？ しめなわリースづくり

を開催しました。



12／15（日）、中央公民館において、「ライスボールとつくる？ しめなわリースづくり」が開催されました。参加された皆さんは、講師の方のアドバイスをいただきながら、個性あふれるリースを製作していました。

リース製作終了後は、ライスボールの皆さんが収穫したお米を使ったおにぎりがふるまわれたほか、ビーチにしめやでは、精米の販売が始まりました。



編集後記



あけましておめでとうございます。

今年も「広報にしめや」をよろしくお願いいたします。

年々1年が早く感じてきました。充実している証拠なのか。年を取っているだけなのか。

今年も充実した年になるように日々精進します！